**報道資料から見た時系列的対応**

**＜２０１４．８．２の報道から＞**

Bihar Issues High Alert on Kosi River After Nepal Landslide-NDTV

（All India/Press Trust of India /Updated August 02,2014 14:20 IST）

（<http://www.ndtv.com/article/india/bihar-issues-high-alert-on-kosi-river-after-nepal-landslide-569684>）

インドのBihar州政府（Ministry of Water Resources）は、Bhote Kosiの天然ダムの決壊洪水の襲来に備え警報を発令した。

2008.8．18にKosi川の堤防が決壊して何百人もの死者を出し、広大な農地が被災した災害を繰り返えしてはならないという強い警戒心を持って対応策を検討している。

8月2日に州政府のWRD（The Water Resources Department）は、天然ダムに関する情報収集を行うと共に、国境にあるBarrageのSluice-gateを操作することによる洪水の対応能力の検討を行った。

また、担当者は、Bhote KosiがKosi川に合流するNepalのVarah Kshetra地点の監視活動を行っている。通常、洪水はこの地点からBarrageまで6時間で到達する。

州政府のDMD（Disaster Management Department）は、川沿いの住民に対して避難を要請した。対象は、Supaul, Saharsa, Madhepura, Purnia districtsである。

そして、緊急時に備え、インド政府のNDRF（National Disaster Response Force）から5チーム、州政府のSDRF（State Disaster Response Force）から3チームがこれらの地域に派遣されている。

Massive landslide hits river near Nepal capital

（BBC NEWS ASIA：2 August 2014 09:00）

（<http://www.bbc.com/news/world-asia-28619288>）

この崩壊による被災地周辺は、ネパール政府により“flood crisis zone”に指定された。

Landslides block Sunkoshi River, locals being evacuated

（The Himalayan Times, 2014-08-02 9:28AM）

（[http://www.thehimalayantimes.com/fullNews.php?headline=Landslides+block+Sunkoshi+River%E2%80%9A+locals+being+evacuatedHYPERLINK "http://www.thehimalayantimes.com/fullNews.php?headline=Landslides+block+Sunkoshi+River%E2%80%9A+locals+being+evacuated&NewsID=422977"&HYPERLINK "http://www.thehimalayantimes.com/fullNews.php?headline=Landslides+block+Sunkoshi+River%E2%80%9A+locals+being+evacuated&NewsID=422977"NewsID=422977](http://www.thehimalayantimes.com/fullNews.php?headline=Landslides+block+Sunkoshi+River%E2%80%9A+locals+being+evacuated&NewsID=422977)）

・Bahrabiseの警察官によるとLandslideは早朝の2:30頃発生した。

・天然ダム上流の水位は急速に上昇しており、川沿いの住民には“High alert”が通報され、安全な場所に避難するよう指示された。

・Nepal Army, Armed Police Force, Nepal PoliceのSecurity personnelが現地に到着した。

・天然ダムの決壊の恐れがあるため、KathmanduからTechnical teamが到着した。

Ekantipur Report（2014/08/02）

（<http://www.ekantipur.com/2014/08/02/top-story/massive-landslide-blocks-sunkoshi-river-6-killed/393024.html>）

・Sindhupalchowk districtのMankha VDCで2日早朝地すべりが発生し、川沿いの住民を高い所に避難させている。

・Nepal Armyは天然ダムを爆破し、湛水を流下させることを計画している。

・Home Ministryはインドとの国境にあるSaptakoshi barrageの56基のSluice-gateが洪水により被災しないよう開かせるよう指示した。

・居住省の大臣によるとインドと中国から技術支援の申し出がきており、また、すでに約700名のネパールのSecurity personnel（Nepalese Army、Armed Police Force、Nepal Police）が現地に到着し、救出活動や行方不明者の捜索活動を開始している。

・Prime Ministerは、居住省に対して上流側に湛水している水を安全に流下させ、住民の生命・財産の危険をなくすよう指示した。

・総理秘書官は、関係者に対して救出活動に万全を期すように指示していると報道した。

・The Central Disaster Relief Committeeは、政府に対して天然ダム下流を“Crisis-hit region”に指定するよう要請した。

Saturday Landslide Last Year’s Aftereffect: Experts

（myrepublica.com, KATHMANDU, Aug 2）

（[http://myrepublica.com/portal/index.php?action=news\_detailsHYPERLINK "http://myrepublica.com/portal/index.php?action=news\_details&news\_id=80211"&HYPERLINK "http://myrepublica.com/portal/index.php?action=news\_details&news\_id=80211"news\_id=80211](http://myrepublica.com/portal/index.php?action=news_details&news_id=80211)）

・今回の地滑りは、昨年(2013)の6月に同じ村で発生した地すべりが密接に関連していると専門家は言っている。昨年の地滑りではAraniko Highwayが一時的に通行止めになっただけで終わった。

・このDistrictでは地すべり災害が多発しており、1982年にはBalephi村で天然ダムが決壊し97名が死亡し、1996年にはLarcha村で同様の災害により54名が死亡している。

・今回の災害に関して、SNSにより多くの情報提供が行われ、その内容の一部は公共報道にも流された。

・Central Disaster Risk Reduction Committeeは、2日8:30am緊急会合を開き、天然ダムに爆薬を使用することを決定した。この決定を受け、district-levelのDisaster Committeeは川沿いの2kmの範囲に緊急体制を通報した。

・居住省大臣は、中国とインド政府に対し、救出活動への支援を依頼した。

・2:02と2:50にNepal Armyにより天然ダムの爆破が実行された。

**＜８／３の現地の新聞報道による発電への影響と対応＞**

・NEA（Nepal Electricity Authority）によると、今回の災害によりスンコシ川にある5箇所の発電所に影響が出ており、合計で66.5MW の減電となっている。これは、1.5hrの停電時間の増加になる。

|  |  |
| --- | --- |
| 発電所名 | Capacity |
| Bhotekoshi | 45MW |
| Sunkoshi | 10MW |
| Chaku | 6MW |
| Bhairakunda | 3MW |
| Sanima Sunkoshi | 2.5MW |
| 合　計 | 66.5MW |

最大のBhotekoshi発電所は被災していないが、送電線の鉄塔が3基被災しており送電できない。また、ChakuとBhairakundaも送電線が被災して送電できなくなっている。そこで、NEAではインドから電気を輸入することを検討しており、日曜日に可能かどうかの結論が出る予定である。

ネパールには貯水式の発電施設は、Kulekhani Prijectの1箇所だけであるが、冬季に問題が発生し、発電能力が落ちている。望みはインドからの輸入だけである。

・天然ダムの長さは約4km、高さは約40mでポカラのFewa湖と同じくらいの大きさである。

・軍が2:20と2:50に行った爆破作業により、越流が開始し、水位は約2m低下した。

**＜２１４．８．４の報道から＞**

・Jure bazaarの20戸以上とMankhaVDCの50戸が被災し、住民5,000人以上が避難している。

・政府は、8月3日、各被災者にRs5,000（約5,000円）の緊急支援金の支給を決めた。

・8月3日副総理と関係大臣が被災地に来て、状況の把握を行った。3日、総理は負傷者の手当ては全て国が責任をもって行うと明言。

・2日午後に軍が取り組んだ爆破作業の結果、もともとの河道の80％の流れを復元することができ、3cm/hrのペースで貯水池の水位が低下し始めた。しかし、まだ決壊の危機がなくなったわけではない。

・NDRC（Natural Disaster Rescue Committee）は緊急会議を開催し、天然ダム下流で"crisis-hit areas"に指定されたSapatri郡の9つのVDC（Gobargada, Ohdraha, Piparapurwo, Kamalpur, Jagatpur, Bairahawa, Bhargaha,Jogeyapur-2, Hanumannagar、報道によりVDCの名前と数が違っており10VDCと報道しているものもある）で川沿いの住民約3,000人、600戸を避難させることを決定した。また、これらの情報はLineや地方のメディアを通じても広報してもらう。

・天然ダムの高さは、約45m、深さは25mでAraniko Highwayが通行できなくなっている。そのため国境近くのDhulikhelで足止めされていた中国、日本、ロシア、ヨーロッパ人約400名について、Simrik Airが運航救出を開始した。月曜日には全て完了する。

・政府は、死者の出た家族にそれぞれRs40,000を支給することを決定した。

・被災者の支援基金として既にRs4百万が集まっている。目標はRs10百万である。

**＜２１４．８．６の報道から＞**

・地すべりは、2:15頃発生した。

・Araniko Highwayの交通ができなくなったことにより、1日あたり何百万Rsの損出が発生する。

・死者の出た家族には、Rs40,000が、また、家を失くした家族にはRs5,000を緊急支援金として支給すると政府は発表した。

・健康省のEDCD(Epidemiology and Disease Control)は、2チームを被災地に派遣した。被災地では水源が破壊されており、川の水を飲んでいる。

・軍の発表によると、現地のsecurity teamは水路の拡幅をして水位を下げ、Highwayを復旧するための作業に可及的速やかに着手することを計画している。

・軍は二回目の爆破を月曜日に予定しており、雨が止めば、水曜日までに上流にたまった水を排水できる見込みである。現在の流入量は205cusecs(cubic foot per second)であり、240~250cusecsの排水量を継続できれば、週末には排水を完了できる可能性がある。

・5日、ICIMODのExpertsが現地調査を行った。

・Tatopaniで足止めを食っていた旅行者（ほとんどがHinduとBuddhistの聖地への巡礼者、インド人と中国人）に対して、Simrik Airlines、Manang Air、Mountain Helicopters、Shree Airlinsの4つの航空会社が3日から4日までですでに618人をKathmanduに運んだ。まだ、1,400人ほどの巡礼者が残っているとのことである。

**Bihar flood situation improves, 30,000 people asked to return home（FIRSTPOST,　Aug 6,** **2014）**

（<http://www.firstpost.com/printpage.php?idno=1651845&sr_no=0>）

・Bihar州では約130,000人が避難していたが、うち30,000人が自宅に戻り始めた。しかし、まだ、約100,000人は避難している。

・コシ川では2008年に洪水があり、堤防が破堤して氾濫し500人以上が死亡した上、広大な農地を水没させ、2百万人以上が被災している。そのため、インドとネパールの両国政府は緊密な連絡を取り合っている。

・モンスーンの雨季は6月半ばから9月まで続く、昨年6月の豪雨で6,000人の死者・行方不明者を出したUttarakhandの悲劇を繰り返してはならない。